

奈良県立五條高等学校 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命（スクール・ミッション）		校訓である「質実」「剛健」「礼節」を身に付けた、地域・社会に貢献する自立した人材の育成
教育方針 （スクール・ポリシー）	入学者の受け入れに関する方針 （アドミッション・ポリシー）	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解している生徒 2 より発展的な学びを目指し、様々な学びに積極的に取り組む意欲のある生徒 3 資格取得に向けて意欲的に取り組む生徒 4 主体的に考えて行動でき、地域貢献への意欲のある生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 （カリキュラム・ポリシー）	本校では、「確かな学力、豊かな人間性、たくましい心身（知・徳・体）を備えた生徒」の育成を中核に据え、「夢や希望の実現に向け、様々な課題に積極的に挑戦する生徒」「自他を尊び、地域・社会に貢献する自立した生徒」の育成を目指し、その実現のために以下の教育を行います。 1 生徒一人一人の自己実現に繋がるよう、基礎学力の定着に重視しながら興味・関心に応じた科目選択ができるカリキュラムを編成します。 2 学科やコース、類型の枠を越えて、思考力・判断力・表現力の育成を重視した学校設定科目を開設し、主体的、探究的に学び考える力を培います。 3 教育活動全般を通じて、温もりのあるコミュニケーション能力を育成します。 4 コミュニティ・スクールの趣旨を踏まえ、地域の小・中学校等との連携やボランティア活動などを積極的に図り、地域や社会に貢献する精神を涵養します。 5 海外姉妹校との連携等により、自己理解と異文化理解等を充実させ、グローバルな視点で物事を判断する力を育成します。 6 生徒一人一人の興味・関心に応じた講座を開講し、資格取得などを旨とする「本人のための教育」を推進します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 （グラデュエーション・ポリシー）	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 豊かな人間性を基盤に、社会に貢献しようとするができる。 2 自他敬愛の精神とともに、自らの地域の歴史や文化に対する強い誇りと愛着をもっている。 3 コミュニケーション力を大切に、仲間と協働しながら主体的に課題を解決できる。 4 卒業後も文武両道に努め、自ら学び続けることができる。

奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	望ましい生活習慣の確立	出席率98.5%以上。
	人権及び命に関する取組を深め、自他を大切にする学習の推進	人権や命にかかわる学習を各学年で年間9時間以上。 人権問題について考える機会が多いを95%以上。
	望ましい食習慣の確立	朝食摂取率80%以上。
	課外活動の充実	部活動加入率（体育系・文化系）80%以上。
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	生徒の授業満足度の平均80%以上。
	学習習慣の確立	毎日家庭学習を行う生徒の割合を80%以上。
	ICTを活用した授業の推進	I C T 機器の利用を全授業の80%以上。
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	インターンシップ（就職希望者）、アカデミック・インターンシップ（進学希望者）への参加率100%。
	地元産業界等との連携	「出前講義」「職業ガイダンス」等を年間5回以上。
	キャリア教育の推進	「夢プラン」による自己点検を教員が確認し、アドバイスする（毎週）。 「進路カルテ」「ポートフォリオ」による到達度チェック等を毎学期1回以上。
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールとしての地域貢献	地域の各小・中学校との連携各校3回（共同開催含む）以上。
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	「奈良TIME」における現地研修等を2回以上。
	グローバルマインドの育成	姉妹校とのオンラインによる交流を年間3回以上（コロナ禍が終息すれば短期留学等も再開）。
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進（卒業までのいじめ全件追跡）。
	個別の教育支援計画や個別の指導計画の実効性ある活用	対象となる生徒の状況を確認（毎学期、全件）。